

バレーボール競技実施要項

1. 主催 鹿児島工業高等専門学校
九州沖縄地区国立高等専門学校体育連盟
2. 主管 九州沖縄地区国立高等専門学校体育連盟バレーボール競技専門部
3. 後援 霧島市、霧島市教育委員会
4. 大会期日 令和4年7月16日（土）・17日（日）
5. 大会会場 みやまの森運動公園 牧園アリーナ
6. チーム人員 監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手14名以内、計17名以内とする。
7. 競技規則 (1) 2022年度（公財）日本バレーボール協会6人制競技規則による。
(2) リベロプレイヤーシステムは一般方式を採用する。
8. 競技方法
 - (1) 男子については、出場チームを3ブロックに分け、ブロック別に予選を第1日目に行い、各ブロック上位2チームの計6チームによる決勝トーナメント戦を第2日目に行う。なお、出場チーム数が8チーム以下の場合は2ブロックとし、決勝トーナメント戦は各ブロック上位2チームの計4チームで行う。ただし、予選の4チームのブロック（四角形ブロック）において棄権チームがあった場合は、残り3チームによるリーグ戦に変更する。

女子については、出場チームを3ブロックに分け、ブロック別に予選を第1日目に行い、各ブロック最下位以外のチームによる決勝トーナメント戦を第2日目に行う。なお、出場チーム数が8チーム以下の場合は2ブロックとし、決勝トーナメント戦は各ブロック最下位以外のチームで行う。ただし、予選の4チームのブロックにおいて棄権チームがあった場合は、残り3チームによるリーグ戦に変更する。また、出場チーム数が5チーム以下の場合は1ブロックでのリーグ戦のみとし、競技方法（4）ア、イ、ウ、エに基づいて順位を決定する。
 - (2) 予選では、前年度の新人大会（代替大会）優勝及び準優勝チームをシードする。

なお、シードの位置は、出場チーム数により別途定める。
 - (3) 決勝トーナメントの組合せは、最初に各ブロック1位の3チームの順位を、予選成績をもとに（4）の方法で決め、1位より順に1、6、4に配置する。その後各ブロック2位のチームを、同じ予選ブロックの1位チームと反対のパートになるように配置する。なお、予選が2ブロックの場合は、準決勝は1位チームと反対側ブロックの2位チームの対戦となるようにする。
 - (4) 上位チームの選出は次の方法による。
 - ア 勝率の高い方を上位とする。
 - イ 勝率が同率の場合は、取得セット率の高い方を上位とする。
 - ウ 取得セット率が同率の場合は、得点率の高い方を上位とする。
 - エ 得点率が同率の場合は次の方法による。2チームで当事者同士の試合が行われた場合は、勝った方のチームを上位とする。その他の場合は抽選によって決定する。
 - オ 棄権チームがあってブロックのチーム数が2チームとなった場合、予選の各ブロック1位チームの順位は、勝率とセット率で決定し、得点率は考慮しない。なお、勝率・セット率ともに同率の場合は抽選で決定する。ここで、棄権チームとの対戦成績は、セットカウント2-0の勝ちとする。
 - カ 女子の4チームのグループ戦の代表チームは、敗者復活戦方式による、3チームの勝ち上がり方式によって決定する。

- (5) 全試合3セットマッチとする。
- (6) 3位決定戦は行わない。
- (7) 前の試合が長引き、試合開始が遅れる場合は、前の試合終了10分後にプロトコールに入る。ただし、当該チームが連続試合となる場合は20分後とする。なお、決勝トーナメントは、両コート同時刻に試合を開始する。

9. 注意事項・その他

- (1) 使用球は、(公財)日本バレーボール協会公認カラーボール検定球5号とする。
(男子ミカサ：V300W、女子モルテン：V5M5000)
- (2) 監督、コーチ、マネージャーは、統一された服装とし、シャツについては襟付きのものを着用すること。また、マークは各チームで用意し着用すること。
- (3) 選手は、(公財)日本バレーボール協会に登録した者とし、監督会議までにチーム加入選手一覧を提出すること。
- (4) 上記3のチーム人員の他に、4名の補助学生を線審等の審判補助員とする。
- (5) 各試合の審判補助員は、線審4名、記録1名、記録補助1名、点示2名とし、線審4名と記録1名は登録メンバー及び補助学生の中から出す。なお、男子の試合の線審は、女子の補助学生は担当できない。
- (6) 大会参加に際して提供される個人情報、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的には利用しない。
- (7) 別紙「第59回(令和4年度)九州沖縄地区高専体育大会バレーボール競技における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」を遵守すること。また、大会会場の新型コロナウイルス感染拡大防止対策方針に従い、感染拡大防止に最善を尽くすこと。

第 59 回（令和 4 年度）九州沖縄地区高専体育大会バレーボール競技における
新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン

1. 会場及びコート

- (1) 入館時に検温、手指の消毒を確実に行うこと。体温が 37.5° 以上の者の入館は認めない。
- (2) 入館時を含め、館内のプレー中以外は原則マスクを着用すること。
- (3) 原則カーテンと窓を開けて試合を行い、換気を十分に行うこと。また、試合中の換気ができない場合は、セット間や試合間を利用して必ずカーテンを開けて換気をする。
- (4) 更衣室を交代で利用するなど、更衣室でも密にならないように注意すること。また、更衣室の消毒は使用したチームが責任を持って行うこと。
- (5) 会場の冷水機の使用は緊急時を除き原則禁止とし、飲用水は各チームで準備すること。

2. 大会の参加について

- (1) 大会参加チームはこの文書に則して大会に参加し、感染症対策事項や熱中症予防、ルールを遵守し、率先して対応に協力すること。また、これを遵守できない場合は、参加の取り消しや途中退場などを求めることがある。
- (2) 各チームにおいて、大会参加についての保護者の同意を得ること。同意書の書式は各チーム任意とし各校顧問または学校が保管すること。
- (3) 大会前日及び当日の三日間について、参加チームは会場到着時に別紙の健康チェックリストを大会本部に提出し、チームの体調状況を報告すること。
- (4) チームにコロナウイルス感染者又は濃厚接触者が判明した場合は、大会本部又は開催校担当者に速やかに連絡するとともに、以下の状況別対応に従って行動すること。

選手・チームスタッフ個人への対応

<大会前>

- ① 大会前 2 週間以内に感染が判明した場合
 - a. 自宅等での待機期間の当該部員、チームスタッフの出場及び宿泊は認めない。
 - b. エントリー選手の変更は監督会議までは認める。
- ② 大会前に濃厚接触者と認定された場合
 - a. 自宅等での待機期間の当該部員、チームスタッフの出場及び宿泊は認めない。
 - b. エントリー選手の変更は監督会議までは認める。

<大会当日>

- ③ 大会当日に発熱等の体調不良がみられる場合
 - a. その日の会場への入館及びホテルへの入館を認めない。
 - b. チームは保護者等に連絡を取り帰宅させること。また、必要に応じて学校にも報告すること。
- ④ 大会当日に感染や濃厚接触が確認された場合
原則として上記①、②を適用する。
大会本部は、保健所に報告し、会場や参加チームにも情報を共有する。
その後の対応については、チーム責任者や学校とも協議し、対応の決定を行うこと。

<大会後>

- ⑤ 大会後に 2 週間以内に感染が判明した場合
 - a. 該当チームは担当校及び専門部代表に確実に連絡すること。
 - b. 担当校及び専門部代表は、会場や参加チームにも情報を共有し、チーム責任者は、学校側に相談しその後の対応を協議すること。

チームへの対応

<上記の「個人への対応」の全対応項目と合わせた「チームへの対応」>

上記 ①、②を適用する。

<学校が臨時休校や学級閉鎖等の措置をとっている場合>

- ⑥ 臨時休校が大会期間中にかかる場合は、参加不可とする。
学校の一部が休校の場合（学級閉鎖・学年閉鎖等）の、大会への参加は校長の判断に従うこと。

※チームへの対応の場合、学校によって判断が異なることが懸念されるが、学校及びチームの判断に任せる。ただし、状況を専門部代表に報告し、参加チームと情報を共有すること。なお、組み合わせ抽選後に、コロナ対応で不参加となったチームは不戦敗とする。

<インフルエンザやその他学校保健安全法等に定められた感染症について>

- ⑦ 施行規則に則った出席停止期間を適用し、その期間の大会参加は認めない。

3. 試合運営について

- (1) ベンチを移動するときは、必ず、ベンチの消毒をすること。
- (2) 試合終了後のチームの入れ替えは、試合が終わったチームが退場してからスタンドを降りて、フロアに入ること。
- (3) 朝及び試合間の練習を含め、各チームのフロアへの入場は選手、役員を含め、最大20名とする。
- (4) 試合中、ボール交換の度にボールを消毒すること。

4. 応援・観戦について

- (1) 応援・観戦は引率者・部員と部員の家族のみとし、卒業生等の応援・観戦は不可とする。ただし、部員の家族は試合開始10分前から入場可能とし、試合後は速やかに退場しなければならない。また、部員の家族は各試合20名以内とし、IDカードを携帯すること。
- (2) 応援方法はスタンド、ベンチともに拍手のみとし、声援等は禁止とする。
- (3) 応援・観戦・視察等による入場者も部員・チームスタッフと同様の健康チェックリストを提出すること。
- (4) 応援・観戦・視察による入場者が新型にコロナへ感染した場合、濃厚接触者になった場合や発熱した場合等の対応は部員やチームスタッフと同様とする。

5. 全体注意事項

- (1) マスクの着用を確実にすること。
 - ① 試合中以外はマスクの着用を確実にすること。
 - ② アップゾーンの選手はマスクを着用すること。ベンチに座るスタッフ・選手は適切な距離を確保しマスクを着用すること。ベンチの椅子は間隔を置いて6脚とする。
 - ③ 体育館の空きスペースでのストレッチや更衣室では、人との接触が大いに想定されるので、必ずマスクを着用すること。
 - ④ 熱中症の予防の観点から、密が避けられる場面ではマスクを外して体温調節すること。
 - ⑤ スタンドでのチームの待機時にもマスクを着用すること。
- (2) チームは消毒液（アルコール等）を準備し、入場の際やスタンド、更衣室等の使用場所を消毒すること。
- (3) スタンド等では、交互に座るなど、適切な距離を保つように心がけること。
- (4) 会場の換気に努めること。換気等があったら協力すること。
- (5) 館内での食事は禁止とする。館内での水分補給は認める。